



1.キャビアとウォッカホイップが 入ったソフトなスクランブルエッ グ。氏を代表するシグネチャーメ ニューのひとつ。2.アボカドと本 マグロのヌードルラディッシュと 生姜添え。日本の食材や調味料に 精通するジャン・ジョルジュ氏な らではのひと皿。3.ナッツと種子 をまぶしたハタスウィートサワ ブロス。追い鰹でソースが進化。 料理はすべてJGおまかせ¥28,512 (税・サ込)より。

ーショナルな幕開けだ。 (4)代の到来を確信させる、センセ氏も加わった最強の布陣。新時 ジュ氏。フランスの三ツ星シェきたい」とは、ジャン・ジョルティを追求した料理を供してい で調達。 るため、 日本人の味覚を凌駕する。 ティブな料理は、 ス ネウィ がらいまだ進化を続けるソースのヌードル。20年前に完成しな ピレ らのステファン・ジランダース の米澤文雄氏を筆頭に、 するシェフ・ド・ 倒的な個性が溢れだすイノベー 広さには驚くばかり。皿中に圧 ジする見識の深さと守備範囲の は昆布と追い鰹の出汁でアレン 添えたハタなど、ベスト・オブ・ 異彩を放つアボカドと本マグロ 塩味・甘味の重層的な味わいで ませるシグネチャーメニューのクスチャーと温度の違いを楽し パイスを自在に駆使し、 ベストな内容だ。素材を重んじ スクランブルエッグや、辛味・ る「JGおまかせ」コー さらに世界各国での旅がインス に及ぶアジアでのシェフ経験、 フから受けた薫陶を礎に、 ジャン・ジョルジュ氏に師事 ションの源。13皿から成 ーブ・ビネグレットやス 野菜や果物のエッセン食材の95%は日本国内 I トサワーブロス〟を キュイジーヌ 美食に慣れた -スは、テ 本国か ソ 10 年 ース





ジャン・ジョルジュ・

2006年から8年連続ミシュ

ラン三ツ星を獲得。フラン スの三ツ星『オーベルジュ・

ド・リル』ポール・エーベ

ルランやポール・ボキュー

ズら名シェフの薫陶を受け、

バンコク、シンガポール、 香港などアジア各国での長

いシェフ経験も誇る。

ヴォンゲリスティン

右:オープンキッチン前のカウンターはプラチナシートであり、さながら劇場

左:ジャン・ジョルジュ氏が信頼を寄せるシェフたちが革新的なコースで魅了。

は予約困難なプラチナシー

シェフ、

新店が登場した。

い

いこの

オ

による、

覚は鋭く、

ルのカウンターで、

オリジナリ

旬 次代の名店となる\*新顔キが勢揃い。2014年に必ずやムーブメントを巻き起こす、今年に入ってもなお、新店が続々と誕生している。昨年から続くニューオープンラッシュのなか、 NEW OPEN RESTAURANTS

2 0 1

4年話題となる新店を先取り

Text=粂 真美子(P154・155)、大 西健俊(P156)、森脇慶子(P157、 159~161)、小寺慶子(P158・162 上下)、寺下光彦(P162中·P163) Photograph=上田佳代子(P154・ 155)、富澤元(P156・157・159)、 菅野祐二(P158・160・161)、鈴木 拓也(P162上下)、福森クニヒロ(P 164)、伊藤菜々子(P162中) Map



TOKYO **OSAKA**